

# 5S (Safety・Simple・Speedy・Select・Smart) を備えた施設づくりで「信頼と満足」の医療サービスを提供し、地域医療に貢献する新たな「地方センター病院」を実現します

### 新病院の基本理念 「信頼と満足の創造」

「地方センター病院」を支える役割・重点機能

- 救急医療 (救命救急センター)
- 災害医療 (地域災害拠点病院)
- がん医療 (地域がん診療連携拠点病院)
- 周産期・小児医療 (地域周産期母子医療センター)
- 高度医療・チーム医療
- 患者サービス

### 医療パフォーマンスを最大化する「5S」

- Safety** 安全・安心
- Simple** わかりやすく使いやすい
- Speedy** 機能連携・運用効率の向上
- Select** 選ばれる魅力的な病院
- Smart** 医療ニーズ・技術革新に追従

私たちは「5S」を備えた施設づくりを行い、医療パフォーマンスを最大限に発揮できる環境を整え、患者・家族・スタッフ三方よしの新病院を皆さまと共に追求します。求められる「役割・重点機能」を柱とし、良質な高度医療を安定して提供することのできる「地方センター病院」を実現します。

### 01 地方センター病院としての計画提案 可変性への対応 業務の効率化

#### 地方センター病院の役割と重点機能を具現化し、更なる診療機能を向上させる5つのポイント

- 1【救命救急センターの面積拡充】**  
Speedy・Safety  
面積拡充による救急機能強化  
24時間365日迅速稼働を実現
- 2【新棟を1棟に集約⇒機能向上】**  
Simple・Speedy  
合理的な部門配置と部門面積で機能と運用効率を向上
- 3【ワンフロア外来・ループ外来】**  
Simple・Speedy・Select  
患者動線が短く、わかりやすく働きやすい外来部門を整備
- 4【アイランド型スタッフステーション】**  
SS(スタッフステーション)リンク  
Safety・Simple・Speedy・Select  
「患者さんの近くで見守る」を実現し、病棟間の協働・連携を提供
- 5【スタッフステップ・スタッフベース】**  
Simple・Speedy  
迅速対応の3ヶ所のスタッフ専用縦動線  
チーム医療を促進するスタッフベース

5Sが作り出す「信頼と満足」の医療サービス

### 02 地方センター病院としての計画提案 可変性への対応

#### 敷地の特性を活かし、医療機能と将来の拡張性を向上させた土地利用計画

提案Point (基本設計からの改善点)

- リハビリ棟機能を新棟に集約
- 増築・建替用地の確保
- 安全で迅速なアクセス計画

メリットを生み出す敷地の活用

- 1 必要機能を新棟と既存改修エリアに集約し、リハビリ棟を中止。敷地の有効利用と医療機能の向上を両立
- 2 増築入院棟、第3外来棟の機能移転を見越した増築棟や現地建替えスペースを確保

将来増築・建替えスペースの確保

- 1 3階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 2 1階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 3 一般・救急・スタッフ・サービス・歩行者動線を分離し、安全で迅速なアクセスを実現
- 4 B1Fレベルから新棟へ直接アクセスできる車寄せとサブ出入口を計画

安全かつスムーズな機能別アプローチ計画 (歩車道分離)

- 1 3階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 2 1階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 3 一般・救急・スタッフ・サービス・歩行者動線を分離し、安全で迅速なアクセスを実現
- 4 B1Fレベルから新棟へ直接アクセスできる車寄せとサブ出入口を計画

敷地の高低差を利用し来院者の利便性を向上させたサブエントランス

- 1 3階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 2 1階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 3 一般・救急・スタッフ・サービス・歩行者動線を分離し、安全で迅速なアクセスを実現
- 4 B1Fレベルから新棟へ直接アクセスできる車寄せとサブ出入口を計画

3車線のゆとりのある車寄せ

- 1 3階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 2 1階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 3 一般・救急・スタッフ・サービス・歩行者動線を分離し、安全で迅速なアクセスを実現
- 4 B1Fレベルから新棟へ直接アクセスできる車寄せとサブ出入口を計画

迅速で明快な救急搬送動線

- 1 3階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 2 1階メインの車寄せは3車線の車路とし、乗降スペースと通過動線を明確に区分
- 3 一般・救急・スタッフ・サービス・歩行者動線を分離し、安全で迅速なアクセスを実現
- 4 B1Fレベルから新棟へ直接アクセスできる車寄せとサブ出入口を計画

### 03 地方センター病院としての計画提案 可変性への対応 業務の効率化

#### 救急の拡充とわかりやすい外来診療

救命救急センターの拡充

時間外・感染外来の連携強化

- 救命救急センターの面積を最大限確保し、救急機能を充実
- スタッフステーション(SS)を中心に出入口、初療エリア、観察エリアを充実整備。迅速な対応と連携を強化
- 救急と関連部門を直結する救急専用エレベータを整備し、最速の救急医療を実現

やさしく迎入れるエントランス/わかりやすい「ワンフロア外来」

- 木を基調とした落ち着きと清潔感のあるエントランスを創出
- 外来部門は2階に集約し、わかりやすく移動負担を軽減した「ワンフロア外来」を整備

エントランスの奥には「春探湖モール」を整備。医療情報コーナーや患者ライブラリーを整備し、カフェ併設で気軽に利用できる環境を提供

木調を基調とした来院者をやさしく迎えるエントランスホール

外来ブロック受付 外来待合

2階に集約したわかりやすいワンフロア外来

### 04 地方センター病院としての計画提案 可変性への対応 業務の効率化

#### 手厚い看護・連携を両立した病棟計画

アイランド型スタッフステーションにより、各病室が見通せ看護動線を最短化

「SSリンク」・「スタッフベース」による2病棟の連携強化

2看護共用の器材棚・リネン・廃棄などを「SSリンク」に直結。業務の効率化

ループ状の廊下は病棟内歩行訓練に活用可能

病棟出入口は電気錠の自動ドアを整備し、セキュリティ面を向上

アイランド型SS  
患者さんにとっては「見守られる安心感のある病棟」、スタッフにとっては「心配りができる手厚い看護を実現する病棟」を提供

# 市民に親しまれ、すべての災害から医療機能を守り、経済的で環境性能の高い「安全・安心・快適」な新病院を実現します

## 05 医療施設に配慮した各部計画(周辺・患者療養環境、外観・内観デザイン、経年劣化・美観保持) 隣接する公園・春採湖の景色を取り込み癒しの療養環境を創出



**市民と病院の絆を深める「春採ポケットパーク」を創出**

- 交差点に面して街とつながる「春採ポケットパーク」を整備。患者・家族や地域住民の心休まる癒しの庭園を創出

### 大空を優雅に飛ぶタンチョウをモチーフとした、市民に親しまれる外観デザイン

- 釧路市のシンボルであるタンチョウが翼を広げて羽ばたくさまを、横強調のデザインとして高層階に採用。アースカラーの品格のあるブラウン系の外壁をまとい、地域医療の更なる飛躍のシンボルとして、市民に永く愛される新病院を実現
- まちと病院の接点となる西側交差点に、緑地やベンチからなる憩いのスペース「春採ポケットパーク」を整備し、市民と病院の絆を深める場を提供

### 周辺環境を取り込んだ明るく開放的な内観デザイン

- 春採公園を臨む東側に「春採湖モール」を創出。緑豊かな木々を眺められる明るく開放的なモールを整備
- 豊かな森林を持つ釧路市の特色を活かし、木目調の内装材や家具を採用し、安らぎある療養環境を提供



### 美観を維持する様々な手法

- 凍害の起きにくい外装材の採用
- 耐候性、防汚性に優れた外壁塗装を採用
- 塩害に強い外部建具仕様の選定
- 重耐塩仕様の屋外設備機器の採用

### 地域特性を踏まえ、美観が維持できる施設

- 寒冷地や塩害地域である敷地の特性を踏まえ、凍害に強い建材や錆びにくい外装材・設備機器を採用

## 06 職員アメニティや業務の効率化 働きやすく安全で快適な医療環境

### スタッフ移動距離の短縮を実現

- 中央にスタッフ専用のエレベータ・階段「スタッフステップ」を集約。低層階にも分散した階段やスタッフ通路を整備し、各所への動線短縮と業務効率の向上を実現

### 救急・外来・病棟のフロア特性をふまえた「スタッフベース」

- 中央コアに面した各階の「スタッフベース」はカンファ・休憩・交流の場として利用可能

### 救急・救急・放射線の合同カンファや夜間休息の場として活用

- 外来: 他の診療科とのカンファや薬剤師・栄養士・理学療法士などを加えたチーム医療カンファに活用

### 病棟: 病棟間のスタッフ交流やチーム医療のラウンドカンファなどに活用

### 日常の感染対策で安全性確保

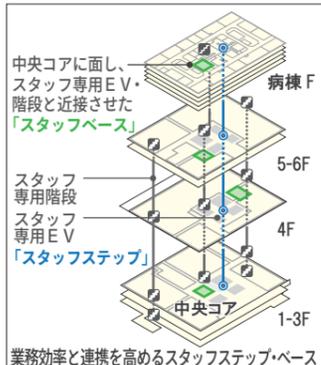
- 明確な感染エリアの設定、PPE配置により、安全に働ける環境を提供

### スタッフの憩いの場の創出

- 第3外来棟は職員レストラン、スタッフルーミングなどを充実整備。職員アメニティを向上させ、離職率を低減

### 女性の働きやすい環境づくり

- 女性専用の休憩コーナーやパウダーコーナー、個人収納棚付トイレ、シャワー室などを整備し、女性スタッフのアメニティを向上



## 07 災害対策 災害時も安全かつスムーズに機能継続できる災害拠点病院を実現

### Phase 1 人・建物を守る ~ 高性能耐震構造

#### 高性能耐震装置(スチールダンパー)の採用(寒冷地仕様)

- 地震時の構造体損傷を抑制
- 医療機器の転倒を防止
- 天井・天吊設備の落下防止対策

図示	天然系積層ゴム	スチールダンパー(U字型)	低摩擦弾性スベリ支承
別置型			
一体型			
役割	・建物の支持 ・周期を延長	・減衰力を発揮して揺れを吸収 (鋼材ダンパーは温度依存が小さいため寒冷地に適当)	・建物の支持 ・より長期化を図り、免震効果を向上

### Phase 2 ライフラインの確保 ~ 7日間継続可能な設備システム

#### BCP(医療継続計画)に基づき、有事の際に迅速に対応するため、継続・復旧させる優先順位を明確化

- 電気・水・医療ガス・通信が7日間途絶えることのないバックアップシステムを構築

電源	・異なる変電所からの2回線受電 ・非常用発電機により契約電力の60%を発電可能 ・給水不要な非常用発電機を採用 ・油燃料の備蓄を3日以上(負荷制御を行い7日間継続運転可) ・春採湖モール、外来、多目的会議室への非常用電源コンセントの設置 ・無停電電源装置による電源の確保	給水	・上水槽、雑用水槽等に7日分備蓄 ・上水・雑用水の2系統給水 ・機器の複数台設置により故障時に対応
非常電源	・節水型便所の採用 ・春採湖モール、外来、多目的会議室に、屋外に仮設マンホールトイレ設置 ・光、メタル、防災無線による多重化 ・液酸タンクは1ヶ月以上の容量確保 ・春採湖モール・外来・多目的会議室に酸素、吸引アウトレット整備	排水	・緊急時排水貯留槽の設置(7日分)
熱源	・非常電源対応のガス焚き式を採用(中圧ガス)	衛生	・節水型便所の採用
給食	・厨房器具はガス・電気併用とし、災害時に非常電源対応	医療ガス	・光、メタル、防災無線による多重化
		情報・通信	・自動診断復旧対応
		エレベータ	・食糧の備蓄を7日分確保

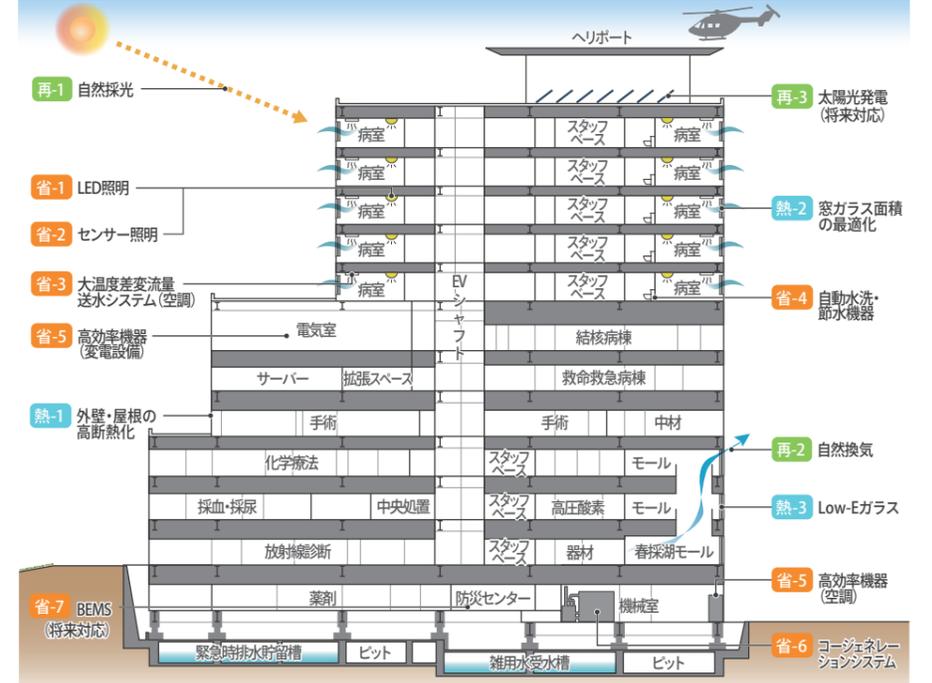
### Phase 3 傷病者の受入れ ~ 災害時モードへの機能転換

#### 災害時の敷地・建物の活用方法を想定し、迅速に災害時モードへ転換できる計画でBCPの策定をサポート

- 寒冷地の対策として救護活動を屋内で完結できるよう計画
- 春採湖モールを軽症、外来を中等症、救命救急センターを重症へと段階的な受入が可能
- 大規模災害時には隣の中学校と連携。被災者を受入れる際に役割を明確化

	平常時	災害時
5F	増築入院棟 会議室・医療安全室	災害対策本部
3F	新棟 リハビリ 新棟 多目的会議室	遺体安置スペース 観察エリア
2F	新棟 外来 新棟 ホスピタルモール	患者受入(中等症) 患者受入(軽症)
1F	新棟 スタッフベース 新棟 エントランスホール 新棟 救命救急センター	DMAT支援隊本部 トリアージスペース 患者受入(重症)
	新棟 内視鏡 新棟 春採湖モール 増築入院棟 執務室	患者受入(中等症) 患者受入(軽症) 職員待機スペース
	増築入院棟 倉庫・防災物品等	物資供給
B1F	新棟 調理室 第3外来棟 SPD倉庫	一部稼働 備蓄倉庫
屋外	職員用駐車場	自衛隊活動スペース

## 08 LCC削減 快適性・経済性にすぐれ、環境にやさしいエコホスピタルを実現

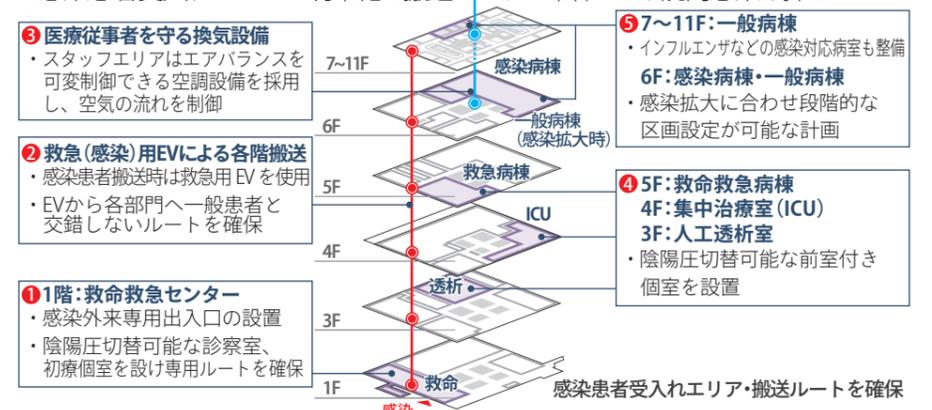


熱負荷の低減	熱-1 外壁・屋根の高断熱化	熱-2 窓ガラス面積の最適化	熱-3 Low-Eガラス
省エネ	省-1 LED照明	省-2 センサー照明	省-3 大温度差変流量送水システム(空調)
省エネ	省-4 自動水洗・節水機器	省-5 高効率機器(変電設備)	省-6 コージェネレーションシステム
省エネ	省-7 BEMS(将来対応)	再生可能エネルギー利用	

## 09 医療施設に配慮した各部計画(感染症に対する配慮) 建築・設備の両面から感染症に対応/感染拡大時の備え

### 感染対策を徹底した施設全体計画

- 感染患者受入れゾーンの明確化と搬送ルートの確保により院内感染を抑止



### 感染患者受入れへの備え

- 感染外来は全て陰圧とし、専用の入口・待合・診察室を設置。感染患者の安全な受入れ環境を整備

### 受入れ人数に合わせたフェイズ毎の病棟ゾーニング

- 6F感染病棟に隣接する一般病棟は閉鎖型のSSとし、感染拡大に合わせた段階的な区画設定が可能な計画

